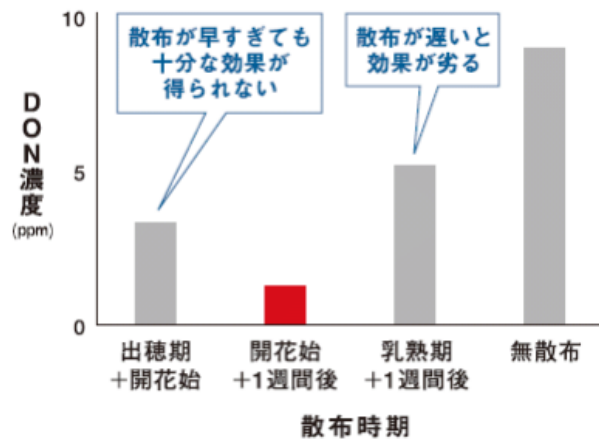
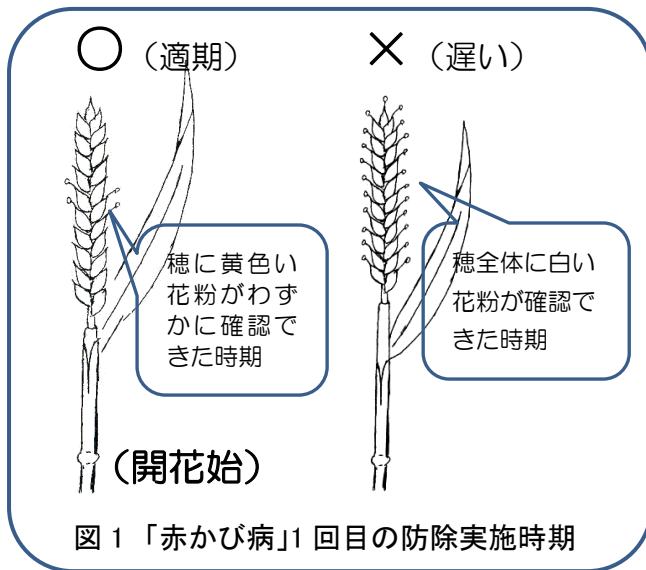


1 赤かび病の防除

は種の早かったほ場では、まもなく出穂期を迎えます。ほ場をよく観察して適期防除に努めてください。

開花始とその後7日間隔で合計3回の防除は確実に実施してください！

- ①最も感染しやすい時期は、開花期前後です。
- ②感染前の穂に薬剤を十分付着させることが重要です。
- ③開花は通常、出穂揃から4～5日後に始まりますが、気温が高く好天が続く年では、出穂と同時に開花する場合があります。



【赤かび病の防除体系】 (H30. 6. 20現在)

散布時期	薬剤名	使用倍率	使用基準	
			時期	回数
1回目:開花始	シルバキュアフロアブル または、リベロ水和剤	2000倍 2000倍	収穫7日前 収穫7日前	2回以内 3回以内
2回目:1週間後	トップジンM水和剤 または、ベフトップジンフロアブル	1000～1500倍 800～1000倍	収穫14日前 収穫14日前	出穂期以降2回 出穂期以降1回
3回目:2週間後	シルバキュアフロアブル または、リベロ水和剤	2000倍 2000倍	収穫7日前 収穫7日前	2回以内 3回以内

2 アブラムシの防除

出穂後およそ10日頃にはほ場を観察して、2本に1本の割合でアブラムシが寄生している場合は減収するおそれがありますので、防除を実施しましょう。

【アブラムシの防除薬剤例】 (H30. 6. 20 現在)

薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数
エルサン乳剤	有機リン	1000倍	収穫7日前まで	4回以内
スミチオン乳剤	有機リン	1000倍	収穫7日前まで	1回

※ムギキモグリバエの防除で上記薬剤を使用している場合は、使用回数に注意してください。